



令和 4 年 5 月 23 日
高松信用金庫
日本政策金融公庫

後継者と共にコロナ禍に立ち向かう文具店

～高松信用金庫と日本政策金融公庫が連携して「新型コロナ対策資本金劣後ローン」を融資実行～

高松信用金庫多度津支店は、有限会社スミヨシ（香川県仲多度郡多度津町、代表取締役：住吉昭男氏）に対して、日本政策金融公庫（略称：日本公庫）高松支店国民生活事業との連携により新型コロナ対策資本金劣後ローン（制度名：「新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付」）を活用した協調融資を実行しました。

有限会社スミヨシは、昭和13年に住吉氏の祖父が創業した文具店で、多度津町の商店街で地元から愛される「文房具屋さん」として事業基盤を築いてきました。現在は、後継予定の息子と共に、地元の官公庁や企業向けに、オフィスで使用する文房具や事務用品を販売・配送しています。またコロナ禍においては、取引先のニーズに応えるために、消毒液やアルコールタオル等、取扱商品の種類も増やしています。大手文房具店やインターネット販売業者の攻勢によって、昔ながらの小売店に厳しい状況が続くなか、当社は長年築いてきた取引先との信頼関係とニーズに応じた細やかな配送管理により業績を維持してきました。

しかしながら、今般のコロナ禍の長期化を受け、取引先企業がコロナ対策への予算割り当てを増やした事等により、当社の売上にも影響が出始めました。そこでメインバンクである高松信用金庫は、当社の将来性や後継者と共に事業拡大に取り組む姿勢を高く評価し、長期資金の融資を行うとともに、中長期的な資金繰りの安定を見据え、事業計画の策定を支援しました。事業計画の策定にあたって、財務基盤の強化を図ることを企図し、日本公庫に相談しました。日本公庫は策定した事業計画を評価し、高松信用金庫と連携のうえ、新型コロナ対策資本金劣後ローンを実行したものです。

新型コロナ対策資本金劣後ローンは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている経済環境下にあって、関係機関の支援を受けて事業の発展・継続を図る中小企業・小規模事業者の財務体質強化のために資本金資金を供給することを通じて、資金調達を円滑化することを目的とした制度で、令和2年8月から制度の取扱いを開始しております。

高松信用金庫は、引き続き日本公庫と密に連携し、コロナ禍に立ち向かう地域の中小企業・小規模事業者の事業の発展・継続を積極的に支援してまいります。

<お問い合わせ先>

高松信用金庫 総合企画部

TEL：087-861-0471

（担当：小笠原）

日本政策金融公庫 高松支店 国民生活事業

TEL：087-851-0181

（担当：明光・安藤）